

# 年頭のごあいさつ

明けましておめでとーございます。

皆様方には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返って印象深い出来事は1月の米国新大統領の就任、7月の東京オリンピック・パラリンピックの開催などが思い出されます。

町政では2月に町議会議員一般選挙が行われ、新たな議会構成のもとで意欲的な議会活動が行われており、国政においては衆議院議員総選挙が10月に行われ、政権与党である自民党・公明党が勝利しました。政府には新型コロナウイルス関連対策はもとより、本町のような離島の振興策に期待しているところです。

西ノ島町長  
升谷 健

昨年も新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた年でした。7月に端を発する第5波では爆発的に感染者が増加、隠岐地域でも感染事例が発生するなど皆様も気持ちが悪まらない日々が続いたものと思います。

本町ではワクチン接種を4月から始め、隠岐島前病院スタッフの献身的なご協力により、迅速な集団接種が行われました。今後、3回目のワクチン接種を進めて参りますが、引き続き、3密を避け、マスクの着用や手洗い・手指消毒を心掛けていただくなどご協力をお願いいたします。

町では、一昨年に続きわがご応援商品券・食事券の発行、宿泊施設等継続支援給付金など町内の経済支援策を講じるとともに、感染予防を考慮した業務

体制をとっているところです。

また、昨年は災害が多く発生し、7月には熱海市で土石流が発生、発災時のリアルな映像に災害の恐ろしさを痛感いたしました。

本町でも8月の50年に一度といわれる記録的豪雨により、町全域に避難指示を発する規模の災害が発生し、人命が失われるなど大きな被害が生まれました。

最近では、地球温暖化の影響等で、こうした災害がいつどこで起きるか分からない状況になっております。町民の皆様には、町からの避難情報等に応じ、早めの避難を心がけていただきますようよろしくお願いいたします。

災害の復旧にはまだまだ時間を要しますが、ご理解とご協力をお願いいたしますと共に、速やかな情報提供、危機管理体制の一層の充実に取り組んでまいります。

また、7月に移転した新庁舎は、8月の災害時に一部を避難所として開放し、早速これまでの庁舎では望めなかった機能を発揮しました。庁舎移転をきっかけに、利便性向上を図るためにはじめた町内3郵便局での住民票や各種証明書の発行も大きなトラブルなく

順調に推移しております。

教育関係では、昨年4月から小中一貫教育がスタートし、義務教育9年間を通しての学力向上等に取り組んでおります。そうした中、中学校男子バスケットボールが出雲地区大会優勝という明るい話題もありました。

まだまだ、コロナ禍という強い逆風が吹いていますが、ワクチン接種が進み、新しい治療法や経口薬の開発などコロナ禍の収束に向けた芽も見えてきております。

新しい年はこういった状況を見据えながら、旧庁舎を含めた公共施設の活用策の検討、サテライトオフィス・コワーキングスペースの整備など企業誘致やテレワークへの対応加速化、特定地域づくり事業協同組合や島前3町村で連携して進める「大人の島留学」などを活用し、Uターンや交流人口の拡大を図り、総合戦略に掲げる人口減少対策を進めるための取り組みを一層強化していきたいと考えています。

新しい年が、町民の皆様にとりまして、素晴らしい年でありますようにお祈り申し上げます、年頭のごあいさついたします。